

Founders Meeting

発起人会 開催記録



一般社団法人

日本精密板金DX工業会

Japan Precision SheetMetal DX Association



一般社団法人

日本精密板金DX工業会

開催概要

会の名称 日本精密板金DX工業会 発起人会

開催日時 2026年 1月29日（木） 15:00～19:30

開催場所 日本橋室町野村ビル YUITO（ユイト）

参加者 日本精密板金DX工業会 発起人 一同

議事次第

1. 正副会長、常任理事のご紹介
2. 顧問、協賛会員のご紹介
3. 正副会長ご挨拶
4. 常任理事よりご挨拶
5. 設立の主旨説明
6. 活動方針、活動内容説明
7. 防衛装備庁 清水様よりスピーチ
8. ジンパオ社長様よりスピーチ

※ 本資料はデジタル配信専用です。
印刷時は、背景を白にしてインク消費を節約した印刷用のPDFをご利用下さい。

発起人一同

【ご参加いただいた役員】

<会長>

岡部工業株式会社	代表取締役社長	岡部 浩章 様
----------	---------	---------

<副会長>

森精工株式会社	代表取締役社長	森 俊幸 様
島田工業株式会社	代表取締役社長	島田 渉 様
株式会社SANMATSU	代表取締役社長	田名部 徹朗 様代理 取締役 中村 文隆 様

<グローバル常任理事>

JINPAO PRECISION INDUSTRY CO.,LTD. (ジンパオ社)	代表取締役社長 マネージャー	鍾 國松 様 (ジョン社長 様) 張 又婷 様 (ジェシカ 様)
---	-------------------	-------------------------------------

<DX推進常任理事>

株式会社マカベ	代表取締役社長	荒川 祥 様
有限会社タナカ製作所	代表取締役社長	田中 謙吉 様
株式会社ツジデ	代表取締役社長	辻出 浩一 様
株式会社昭和	専務取締役	黒木 雄介 様
株式会社エイワ機工	代表取締役社長	三浦 正広 様
株式会社林製作所	代表取締役社長	林 司 様
有限会社ヤマダ	代表取締役社長	谷内 浩子 様
株式会社モハラテクニカ	代表取締役社長	茂原 亮太 様
株式会社フジプロテック	代表取締役社長	赤井 智則 様
株式会社キョウユウ技研	代表取締役社長	柴 直樹 様
株式会社小谷製作所	常務取締役	小谷 和俊 様
	鈑金アドバイザー	畑中 克生 様

<国際戦略常任理事>

株式会社XEN GROUP	代表取締役社長	高畑 洋輔 様
株式会社大熊製作所	代表取締役社長	小堀 勝一 様
有限会社小林製作所	代表取締役社長	小林 裕明 様

【ご欠席の役員】

<DX推進常任理事>

株式会社ツガワ	代表取締役社長	駒田 義和 様
株式会社スズミ	代表取締役社長	鈴木 雄一 様
株式会社堀井製作所	専務取締役	堀井 一政 様
岡田鈑金株式会社	代表取締役社長	増田 武夫 様

<国際戦略常任理事>

株式会社イワサキ	代表取締役社長	岩崎 基造 様
----------	---------	---------

<グローバル常任理事>

HEMAIR SYSTEMS LIMITED (ヘミエール社)	代表取締役社長	VUTLA SRINIVASA RAO 様 (RAO社長 様)
------------------------------------	---------	---------------------------------

1. 「会長」 岡部 浩章 様よりご挨拶



何年も前から「友の会」をやろうと言ってきまして、「日本精密板金DX工業会」という難しい名前になりましたが今回設立の運びとなりました。
高木会長の並々ならぬご苦勞があったと思います。
縁あってこのような立場になりましたが、皆様のご協力なくして会の運営は、できませんので、
よろしくお願いします。

2. 「副会長」 森 俊幸 様よりご挨拶



こうしてDX工業会が発足することになり、めでたく、また、ありがたく思います。
同じ工業会の仲間で、いろんな悩みや先進的な技術があると思います。
お互いに知恵を出し合い切磋琢磨して、一緒に成長できる会にしていきたいと思っていますので、
よろしくお願いします。

3. 「副会長」 島田 渉 様よりご挨拶



せんえつながら副会長にということでSNSの力はすごいなと実感しています。今回、同郷の岡部親分が会長をやるということで、私はカバン持ちとして副会長をやらせていただきます。錚々たる皆さんが集まり、素晴らしいことだと思いますし、我々も自分達だけの視点で、一方通行では、ものづくりってできないのですが、いろんな会社さんと交流することで多角的な考え方や視点がもてるなと思っています。ましてDXとなるとよけい立体になって、交錯して、いろんな情報が出てくると思います。よろしくお願いします。

4. 「副会長」 田名部 徹朗 様 代理 中村 文隆 様よりご挨拶



弊社は今年50周年を迎え、今まで取り組んできたことに加えて、DXに力を入れております。日本のものづくりをしている工場では、システムと運用がなかなかうまくいかなかったりすることがあると思いますので、皆様と一緒に日本のものづくり、DXをしっかり盛り上げたいと思います。よろしくお願いします。

5. 「常任理事」の皆様よりご挨拶

<国際戦略常任理事>



株式会社大熊製作所
代表取締役社長 小堀 勝一 様



株式会社XEN GROUP
代表取締役社長 高畑 洋輔 様



有限会社小林製作所
代表取締役社長 小林 裕明 様

<DX推進常任理事>



株式会社モハラテクニカ
代表取締役社長 茂原 亮太 様



株式会社林製作所
代表取締役社長 林 司 様



株式会社ツジデ
代表取締役社長 辻出 浩一 様



株式会社小谷製作所
常務取締役 小谷 和俊 様



株式会社小谷製作所
飯金アドバイザー 畑中 克生 様



株式会社昭和
専務取締役 黒木 雄介 様



株式会社キョウユウ技研
代表取締役社長 柴 直樹 様



有限会社ヤマダ
代表取締役社長 谷内 浩子 様



株式会社エイワ機工
代表取締役社長 三浦 正広 様



株式会社フジプロテック
代表取締役社長 赤井 智則 様

6. 運営統括責任者 高木より設立の主旨説明



これだけのハイパワー企業さんに役員をお引き受けいただき、日本の精密板金の将来を担っていく歴史的な会が、本日スタートしました。

皆様と一緒にご指導・ご鞭撻をいただきながら日本の精密板金業界が発展していくよう少しでも貢献していきたいと思います。

さて、本会の発足の意義をお手元の2026（第1回レポート）に沿ってご案内して参りたいと思います。

— 中略 — （別紙、第1回レポート参照）

この工業会は単なる親睦団体ではありません。

日本の精密板金業界を「情報産業」「知識集約型産業」へと進化させ、世界と戦える構造を作るための「知的・製造産業」への進化を目指す歴史的な挑戦です。

7. 事務局長 中山より活動方針、活動内容説明



本工業会で、精密板金の勝ち筋は、「フィジカルAIで進化するDX工場にある」と掲げ、それを実現するための有効な情報として

3つの視点、すなわち

「未来の情報」、「発注元の情報」、「海外の情報」が重要であると考えています。

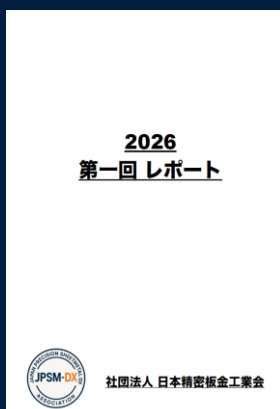
— 中略 — （配布資料の活動方針参照）

続きまして活動内容について説明します。

— 中略 — （配布資料の活動内容参照）

よろしくお願いします。

当日、配布した資料



6. 防衛装備庁 清水様 スピーチ



情報産業課でDX改革の旗振りを務め、「2025年の崖」への対応としてレガシーシステムの刷新や人手不足への対策を、官民でどのように進めるかを検討してきました。

DXを支える基盤（半導体、ネットワーク、データセンター、生成AIなど）が国内にあることで、皆様が安心してDXを加速できると考えています。2020年以降、国としてもこの分野に財政出動を行い、民間に波及する流れが生まれています。

現在は防衛省に出向していますが、最大の課題は皆様と同様に人手不足です。少子化で自衛官が減る一方、安全保障環境は厳しさを増しており、省人化・無人化の推進などDXの重要性が一層高まっています。

ー 中略 ー

高市政権のもと、防衛と産業はつながっているとの考えから防衛省と経産省が連携しています。本会においてもDXを着実に進めていただき、その力を防衛力向上につなげていただければと思います。ありがとうございました。

6. ジンパオ社 ジョン社長様 スピーチ



まず初めに、この場の皆様は、全て儲かる会社の社長だと思います。

なぜなら、アルファTKGのソフトを活用しているからです。

この素晴らしいソフト誕生のきっかけとして、13年前に我々が台湾で上場した時、高木さんがアマダを退職し、精密板金に貢献するソフト会社を立ち上げ、その会社を私が支援しました。それから13年が経過した今、本当に高木さんに感謝を申し上げます。

アルファTKGのソフトにより今日、多くの利益を上げています。13年前の月商7千万タイパーツから、人手はそれほど増やすことなく、今日、4億タイパーツ（月商20億円）へと成長することができました。



ここまで発展できたのは私の才能ではなく、社員がシステムを活用して生産を最適化してきたからです。

デジタル化の次に、3つの成長ポイントがありました。

1つめは、「人」。学校と提携して毎年40名の学生に10カ月間実習を行い、約75%が入社しています。

2つめは、「現有設備のロボットとの連携」です。

3つめは、「航空機分野への拡大」にも取り組み、事業成長につながっています。

これからは「フィジカルAI」が成功のキーワードとなり、DXなしには競争に勝てません。

13年前に掲げたデジタル工場から、今は新たなAIという目標が見えています。

皆さんと共に板金DXに取り組み、商売繁盛を祈念します。ありがとうございました。



懇親会スピーチ 「会長」 岡部 浩章 様



懇親会乾杯 「DX推進常任理事」 小谷 和俊 様



懇親会 歓談

